

夢・目標をもち瞳かがやく平川っ子の育成 ～自分を大切にしよう、仲間を大切にしよう～

大杉だより

No. 8 1月8日号

山口市立平川中学校
山口市黒川1231-1
tel. 924-7700
fax. 924-7706
mail : hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp
HP : <https://fa.fureai-cloud.jp/hira-j/>

ホームページには行事予定などのお知らせを載せていますので、ぜひ、ご覧ください。

ひと手間かける思いやり

校長 横 沼 潤 一

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

新年の挨拶といえば、日本には古くから年賀状を出す風習があります。昔から大切な人と交わされてきた年賀状。そこには人とのつながりを大切に、相手を思いやる気持ちが感じられます。

年賀状の歴史は古く、平安時代に藤原明衡（ふじわらの あきひら）が作った手紙の文例集『庭訓往来（ていきんおうらい）』の中には、「春の始めの御悦び、貴方に向かってまず祝い申し候（春始御悦向貴方先祝申候訖）」という一文が見られます。

年賀状を出すことが一般にも広がったのは、明治4年（1871年）の郵便制度開始がきっかけでした。明治6年（1873年）に郵便はがきの発行が始まり、明治20年（1887年）頃にはその数が激増しました。元日の消印をねらって年末に投函する人も増えてきたため、当時の郵便局員たちは不眠不休で消印作業にあたり、押印担当者の手はマメで腫れ上がるほどだったそうです。

そこで明治32年（1899年）、現在と同じように、年末のうちに受け付けて元日に配達する“年賀郵便の特別取扱い”が導入されます。よく見ると、お正月に届く年賀状には、消印が押されていません（切手を貼ったはがきには押されます）。年賀状を出す人が、専用はがきを使うことで、一目見て年賀状と分かる様にしておけば、消印を押す作業を省くことができ、郵便局側はずいぶん楽になりました。

また、昭和43年（1968年）には、3桁または5桁の郵便番号が導入され、機械を使って郵便物を効率よく相手に届けるためのしくみができました。さらに、平成10年（1998年）には郵便番号が7桁になり、町域や大型ビルの階層までも個別の郵便番号で指定できるようになったことで、より一層配達の効率が上がりました。このように、郵便の歴史には手紙やはがきを少しでも効率よく届けるための工夫が、言い換えると郵便に関わる人たちへの思いやりの工夫が重ねられてきたのです。

年賀状を印刷するための技術が家庭にも普及した平成16年（2004年）頃、年賀はがきの販売枚数はピークを迎えます。しかしその後、電子メール、SNS等が普及したことや、郵便料金の値上がり等もあって、年賀はがきの販売は近年大幅に減少しているそうです。はがきを購入し、挨拶文を印刷したり書いたりして、ポストに投函するという“手間”を省くような時代になったのかもしれませんが。

“手間”とは、そのことをするのに費やされる時間や労力のことを言いますが、例えば年賀状に費やす時間や労力は、届ける相手に対して、その方のことを思う気持ちを少しでも伝えようとするためにかける“手間”なのだと思います。全てのことに“手間”をかけることが容易ではない昨今、何を省き、何に“手間”をかけていくのかについては、これからもしっかりと考えていきたいものです。

本校では、1、2年生の生徒が、平川地区社会福祉協議会を通じて地域にお住まいの高齢者の方々に年賀状をお届けする取組を行っています。子ども達の地域への思いが、届いた方に少しでも伝わればと願っています。

新しい生徒会執行部が決定しました

12月6日（金）の生徒会役員選挙の結果から、生徒会長をはじめとした生徒会役員が、その後、多くの立候補者の中から各専門委員長が決定し、新しい生徒会執行部が3学期より始動します。以下に、役職と氏名を紹介します。

役 職	氏 名	役 職	氏 名
生 徒 会 長	岡田 晋作	総 務 委 員 長	山根 優護
生徒会副会長	永藤 奏史	生 活 委 員 長	山本 詩歩
//	小迫 妃莉	学 習 委 員 長	松岡 沙紀
執 行 委 員	中村 夏帆	美 化 委 員 長	岡田 彩希
//	早川 瑞希	保 健 委 員 長	國本 祥菜
//	窪谷 風佑	給 食 委 員 長	長谷川 碧
//	宮崎 花蓮	図書広報委員長	徳光 明依
		放 送 委 員 長	小林 葵

（敬称略）



この15人は、冬休み中に学校に集まり、これからどうやって平川中学校をさらによい学校にするかを考えていました。彼らのこれからの活躍に期待したいと思います。

授業に参加してみませんか？

2月4日（火）に、「第3回地域参加型道徳」を実施します。この授業の目的は、「**世代や立場の異なる地域の方々の考えにふれることで、生徒の地域の一員としての自覚を促すとともに見方や考え方を広げられるようにする。**」というものです。

今回は1年生の道徳の授業に参加し、生徒と一緒に話し合いをしていただきたいと思います。あまり難しく考えず、「生徒とおしゃべりして、楽しい時間を過ごそう」くらいの気軽な気持ちで参加していただけたらと思います。

前回参加していただいた保護者の方の感想（一部抜粋）です。

- ・みんな真剣に考え、自分の意見をしっかり述べ、周りの意見にも耳を傾ける姿勢には感心しました
- ・ほぼ初対面の私たちとも積極的に意見を出し合える素敵な時間だったと感じました。
- ・生徒たちに大人の意見を聞いてもらうチャンスがあるのはよいことだと思います。

2月4日当日の日程は以下のとおりです。

～13:15 中学校図書室へお越しください

13:20～ 生徒の様子や授業の説明（図書室）

13:35～14:25 授業に参加（各クラスに入ってください）

14:35～ 授業の感想や振り返り（図書室）

ご参加いただける方は、中学校教頭までお知らせください。（電話 083-924-7700）その際に、参加される方の氏名と中学校にお子様がいらっしゃる方はお子様の学年と氏名、住所・電話番号をお知らせください。事前に資料をお送りします。

保護者の方だけでなく、地域の方の参加也大歓迎です。ぜひ、お知り合いに声をかけていただき、ふるってご参加ください。よろしくお願いします。

